給食試食会を開催しました

～ 毎日の給食に込められた思いを知る時間 ～

9 月 16 日、PTA 主催の給食試食会を開催しました。実際に子どもたちと同じ給食を味わいながら、栄養教諭の永井先生より、中学校給食の役割や献立づくりについてお話を伺いました。



麻婆カレーライス、パリパリサラダ、グレープゼリー、牛乳



給食は、毎日の「生きた教材」

永井先生のお話から特に心に残ったのは、給食を「生きた教材」として捉えていることです。栄養や食材について知るだけでなく、季節や行事、食文化、食べることの大切さなど、一食の給食を通して子どもたちにさまざまなことを伝えたいという思いが感じられました。毎日何気なく食べている給食の一つひとつに、子どもたちの成長を願う工夫が込められていることを知る機会となりました。







安全でおいしい給食を支えるチームワーク

また、日々の調理を担ってくださっている株式会社 HITOWA の皆さまからも、子どもたちに安全でおいしい給食を届けたいという思いが伝わってきました。栄養教諭と調理スタッフの皆さまが連携しながら給食をつくり上げている様子に、改めて学校給食を支えてくださる方々への感謝の気持ちが深まりました。

試食会終了後には「学校給食運営協議会」を開催し、学校関係者（副校長、学校栄養士）、PTA 役員、P 協派遣委員、教育委員会、給食委託業者の代表（株式会社 HITOWA）で、日頃の給食について意見交換を行いました。

今回の試食会を通して、給食は「食べる時間」だけではなく、
子どもたちの学びと成長を支える大切な時間であることを実感しました。